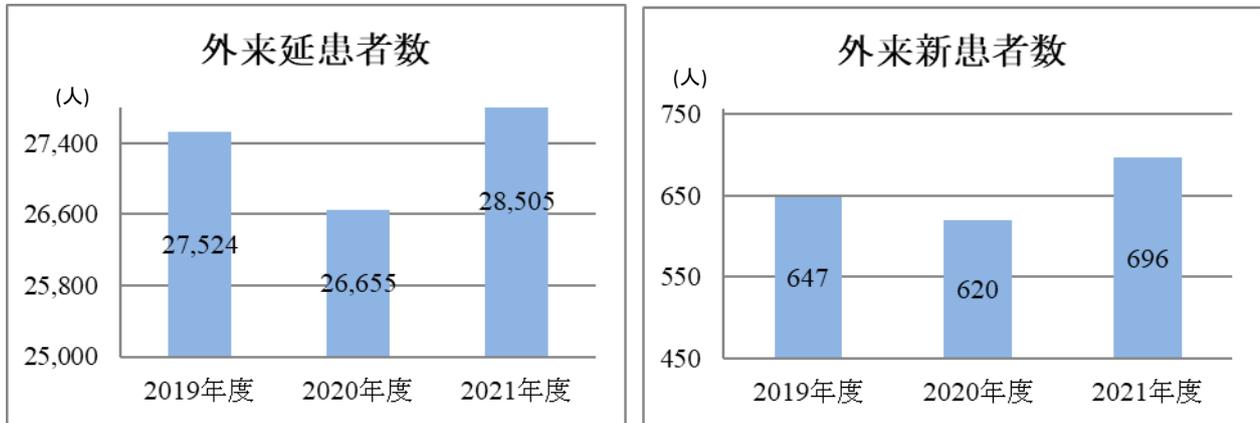


2-20 メンタルクリニック

診療実績



診療活動

患者数は県内トップクラスの外来患者数を維持しています。新患者でも県内1を維持しています。病棟からのコンサルテーション数も多く、せん妄や抑うつなどを身体科と連携して治療しています。自殺企図患者などを救急科による身体的治療と並行して、必要に応じて地域の精神科病院に転院させるネットワークも構築され、順調に機能しています。他院で受け入れ困難な精神疾患患者の身体疾患も、各科と連携して受け入れています。

児童思春期の患者も引き続き多数来院しており、他院では対応できないケースを受け入れることも多くなっています。児童に限らず、近年は非薬物療法のニーズが高いことに応え、臨床心理士と連携して、ペアレントトレーニング・ソーシャルスキルトレーニング・認知行動療法・遊戯療法などの非薬物療法を充実させてきました。成人の発達障害患者も増加傾向にあり、成人のソーシャルスキルトレーニングはメンバーも増えています。児童の学習障害の治療プログラムも開始しました。2022年4月より開設する「こどものこころのケアセンター」も準備が整い、予定通り診療を開始します。

研究では、桐野は functional MRI と脳波の同時測定による functional connectivity の研究を継続しています。児童思春期のメンタルヘルスなどのテーマで講演依頼も多く、地域医療に貢献しています。

研究活動

英文原著

1. Andica C, Kamagata K, **Kirino E**, Uchida W, Murata S, Aoki S: Neurite orientation dispersion and density imaging reveals white matter microstructural alterations in adults with autism-spectrum disorder. *Mol. Autism*. 2021 Jun 30;12(1):48. doi: 10.1186/s13229-021-00456-4
2. Tanaka S, **Kirino E**: The precuneus contributes to embodied scene construction for singing in an opera. *Frontiers in Human Neuroscience*. 2021 Oct 15;15:737742. doi: 10.3389/fnhum.2021.737742. eCollection 2021. PMID: 34720910
3. Tanaka S, **Kirino E**: Right-Lateralized Enhancement of the Auditory Cortical Network During Imagined Music Performance. *Frontiers in Neuroscience* 2022 Feb 10;16:739858. doi: 10.3389/fnins.2022.739858.

eCollection 2022.

4. Nagai Y, Nishioka M, Tanaka T, Shimano T, **Kirino E**, Suzuki T, Kato T. Identification of 22q11.2 deletion in a patient with schizophrenia and clinically diagnosed Rubinstein–Taybi syndrome. First published: 28 July 2022 <https://doi.org/10.1002/pcn5.34>

和文総説

1. **桐野衛二** : Default mode networkと統合失調症. (特集 Default mode network). 神経内科 94 (2): 218-224, 2021

英文報告

1. Tanaka S, **Kirino E**: Corrigendum: Increased functional connectivity of the angular gyrus during imagined music performance. *Frontiers in Human Neuroscience*. 2021; 15: 716376. Published online 2021 Jul 7. doi: 10.3389/fnhum.2021.716376

和文報告

1. **桐野衛二**: デフォルトモードネットワークと統合失調症. 令和2年度順天堂精神医学研究所紀要: 1-9, 2021
2. 稲見 理絵, **桐野衛二**, 田中 昌司, 臼井 千恵, 井上 令一: 統合失調症の脳内ネットワーク異常のrs-fMRI・脳波同時計測を用いた検討. 令和2年度順天堂精神医学研究所紀要: 10-18, 2021
3. 永井 康仁, 稲見 理絵, **桐野衛二**, 井上 令一: 成人自閉症スペクトラム障害患者におけるfunctional connectivityのrs-fMRIおよびDKI を用いた検討. 令和2年度順天堂精神医学研究所紀要: 84-91, 2021

英文学会発表

1. Kawata Y, **Kirino E**: Emotion Regulation Influences Sports-Specific Decision Making under Negative Emotion among Baseball Players: An fMRI Study. The International Society of Sport Psychology (ISSP) 15th World Congress. Sep 30-Oct 4, 2021

和文学会発表

1. 新井貴士, 鎌形康司, 内田航, 斎藤勇也, **桐野衛二**, 青木茂樹: Neurite orientation dispersion and density imagingを用いた自閉症スペクトラム障害における灰白質微細構造変化の評価. 第23回 ヒト脳機能マッピング学会 2021
2. 新井貴士, 鎌形康司, 内田航, クリスティーナ・アンディカ, 斎藤勇也, 堀正明, **桐野衛二**, 青木茂樹ほか: 成人自閉症スペクトラム障害における灰白質微細構造変化. 第49回 日本磁気共鳴医学会大会 2021
3. 臼井千恵, **桐野衛二**, 稲見理絵, 井上令一, 永井 康仁: 安静時fMRIを用いた線維筋痛症患者に対する音楽効果の検討 第117回日本精神神経学会学術総会, 京都, 2021年9月19–21日(オンデマンド発表)
4. 須藤路子, 東根明人, 伊藤憲治, 桐野衛二: 運動が幼児の言語能力の発達に与える効果 第77回日本体力医学会大会, オンライン開催, 2022年9月21–23日

主な競争的資金の獲得状況

1. 平成 31-令和 5 年度 基盤研究(C) (研究代表者 **桐野衛二**) 課題番号 19K08026 fMRI 脳波 拡散 MRI 同時計測による統合失調症 connectivity の検討 Simultaneous fMRI-EEG-DTI Recording of Functional Connectivity in Patients with Schizophrenia. ¥4,290,000 (直接経費¥3,300,000)
2. 令和 3 年度-令和 8 年度 基盤研究(C) (研究代表者 臼井千恵_分担研究者 **桐野衛二** 他) 携帯アプリを用いた慢性疼痛増悪因子の解明及び予防的デジタルメディスン開発の研究